

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



【フードバンク検討会 開催報告】
 12月12日10:00-12:30 フードバンク倉庫兼事務所
 参加者 29名
 ☆行政4名 ・「フードロス削減に向けた自治体の活動報告」
 県環境局 横浜市資源循環局 川崎市環境局
 ☆社協5名 ・「相談窓口等での社協の食支援活動」
 藤沢市社協 綾瀬市社協 金沢区社協
 ☆食品寄贈事業者5名 ・「食品提供の現場から報告」
 ミツハシライス 国分首都圏 三菱食品 日本生協連
 ユーコープハーモス座間
 ☆地域フードバンク5名 ・「地域フードバンクの支援報告」
 ワンエイド お福わけの会 フードバンク横浜
 ☆地域より WE21ジャパン金沢 1名
 ☆フードバンクかながわ 9名
 理事 3名 事業推進委員 2名 事務局4名



〈意見交換〉

- 行政・社協から要請された要支援者への適切な対応には、行政・社協・民間で定期的な情報共有が必要ではないか。
- 地域で要支援者をめぐる情報交換、団体の交流、他地域の事例を共有し、良いところ取りが大事ではないか。
- 食料を渡すだけではなく、自立につながる支援が大事。民間支援では受取人に関する情報が不足する。情報がないと次の支援につながらず、個人情報保護を守りつつどう支援するか悩む。
- 地域フードバンクはまだ少なく、カバーできていない地域が多い。支援の必要な人をどこが支援できるか、考え方を共有し、連携して利用者への対応を上げたい。地域フードバンクの情報交流が必要ではないか。
- 自治体として食支援の位置づけが出来ておらず、社協や市民団体が担う現状もある。政策提言で変えていきたい。
- 検討会を継続したい。
- 寄贈団体、利用団体を分けた情報交換の場も必要。などの意見が出されました。

年末は12月28日で活動終了。年始は1月7日から始まります。

《構成団体の活動計画》
ユーコープ 1月4日～31日 61店舗でフードドライブを実施します。
生活クラブ 1月からフードドライブ・ボランティア募集・カンパ活動と呼びかけています。



高校の居場所づくりへの食料支援を開始しました。
 いま高校の中にくつろいだカフェのような居場所を作り、学年を超えた生徒同士や地域の人と交流する場・校内居場所カフェが作られています。フードバンクかながわでは、居場所カフェへの支援や居場所カフェを通じた食支援に対応します。

利用団体登録時にはフードバンク事務局が訪問し、聞き取りや食品管理について調査しています。
 高校生の中には、家庭の事情で経済的にも厳しい状況の者も多く、学業と仕事の両立を図っているそうです。単位制での授業の場合、クラスがなく友達をつくれず、人と接することが少なく、孤立する恐れがあるため、カフェにあつまり、生徒同士、大学生、社会人、教師との交流が生徒の安心できる場となります。交流カフェとして、飲み物・お菓子・食育のために軽食が無料で提供されており、フードバンクからの食品が役に立っています。

事務局メッセージ

♡ 激動の12月は、1ヶ月で13.1トンを超える食品を企業や団体、行政、そして、個人の方々からご寄贈頂きました。今年の4月事業開始から9カ月で28.5トンと目標を大幅に超えるペースです。また、神奈川県労働者福祉基金様より多額の寄付金を頂きました。
 ♡ フードドライブで提供された食品の仕分け、お米の精米・小分け等のボランティアを募集しています。各団体で呼びかけをお願いします。
 ♡ 皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。2019年がだれにとっても良い年になりますように。



基本情報

累計
4月1日～
12月28日

食品寄贈団体 26団体
提供団体 60団体 行政・社協・社福19、
市民団体41 (地域フードバンク12、子ども食
堂・学習支援・居場所25、自立支援2、福祉
関係2)
食品寄贈 184,457点 28,530.49kg
内フードドライブ 7,114点 2,070.98kg
食品提供 141,206点 21,679.05kg

賛助会員入会状況
団体会員 38団体 216口
個人会員 10名 136口

---市民参加で食料支援を通じたわがわが社会を---

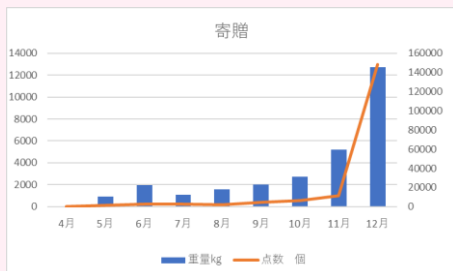
12月の食品の寄贈・提供 (敬称略)

12月の寄贈 13.0t(12/28)

寄贈食品数量・重量 152,410点 13,058.17kg
提供食品数量・重量 118,158点 9,632.46kg

12月は、菓子メーカーからの寄贈、茅ヶ崎市・横浜総合病院からの防災備蓄品の寄贈の他に、日生協(9,455点、2293.08kg)やフードバンク横浜・フードバンク埼玉(川口市防災品)・セカンドリーグ(神奈川県防災品)等の地域フードバンクからの食品寄贈があり在庫重量は 6-11月分の重量に匹敵しています。

- 定期寄贈 ミツハシライス、ユーコープ
- 寄贈 フードバンク埼玉(川口市備蓄品)は、埼玉労福協を経由し、アルファ米(わかめご飯・山菜おこわ・五目御飯)1,700kg 50人分×340ケース、防災ビスケット9,000個675kg
日生協からは、ホイップココアクリーム228個 干し椎茸370個 プロテインゼリー4,800個
株A社から クッキー17万袋【47g10袋×18箱】が2,460ケース
逗子社協、凸版印刷、
- フードドライブ
湘南生活クラブ、金沢区自治会、東京電力労組、生活クラブセンター、個人寄贈など



年間目標32トン 12/28現在28.5トン

- 4月から12月28日までの寄贈食品は28.5トン
フードドライブによる寄贈は72の団体・個人から7114点、2.07トン

12月の提供食品は 118,158点 9.6トン

地域フードバンク(フードバンク埼玉、フードバンクふじのくに)学習支援・子ども食堂等8団体、自立支援・社会福祉法人各1団体の12団体に新しく食品提供を始めました。在庫量も6-11月に匹敵しています。

並木地域ケアプラザ、ふじぼけ、藤沢社協、ワンエイド、相模原市、お福わけの会、サンタ子ども食堂、小山高齢者センター、芹が谷スナッペンどう、逗子社協、パノラマ、川崎市、綾瀬市社協、瀬谷区第4地区社協、子ども食堂アリーノ、フードバンク神奈川プラス、すくすく、カナンキリスト教会、フードバンク埼玉、フードバンクふじのくに、CoCoLoの会、さくらの森、パクパク食堂、よこすかなかなかや、フードバンク横浜、もったいないジャパン、金沢区社協、(社福)キッチンえくぼ、子どもカフェ上郷、綾瀬市社協、なんとかなる、湘南つばさの家、さくら茶屋にししば、子どもカフェ上郷、横浜ユースなどに提供しました。

12月のトピックス

♡12月2日 タワーマンションが立ち並ぶ武蔵小杉で、川崎市母子・父子福祉センターサンライヴ、川崎市母子寡婦福祉協議会、川崎市 主催の『ひとり親家庭応援フェスタ』が開催されました。
フードバンクかながわからは、お米や缶詰、お菓子など50人分約145kgの食品を提供させて頂きました。



♡12月4日、生活クラブ生協センターでは職員・ワーカーズがフードドライブを実施。193点、42.34kgが届きました。



♡17万袋のお菓子(クッキー)の提供がありました。
倉庫はクッキーの箱でいっぱい。フードバンクふじのくに、フードバンク埼玉、県内のフードバンク、施設、子ども食堂などに提供しています。クリスマス前に子どもたちに届けたいと事務局一同頑張りました。賞味期限は2019年7月です。



♡神奈川県労働者福祉基金より、多額の寄付金を頂きました。野口理事長(中央)より目録を受け取る柏木・當具両代表。



♡居場所づくり「ふじぼけ」からクリスマスケーキ作りの写真が届きました。フルーツ缶とナッツが使われています。



フードドライブとは、家庭の余剰食品などの食品寄付で食料の分かちあいと食品ロスの削減を行う活動です。

皆さんありがとうございました！ フードドライブをやってみよう団体がありましたら、フードバンクかながわまでご相談ください。

TEL045-349-5803

